

フィールドワークの成功を次につなげよう

校長 二見 隆久

先日の合唱コンクールでは、どのクラスも一致団結して、素晴らしい歌声を響かせてくれました。そしていよいよフィールドワークを迎えることになりました。合唱コンではクラス全体のまとまりや協力が問われましたが、フィールドワークは班行動が基本となります。少ない人数だからまとまりやすいというわけでもなく、準備段階から実行委員を中心として班長や各係で綿密に計画を立ててきたことと思います。しかし計画と実際は大きく違うのが常です。実際に見学場所に行ってみると思った通り行かないことがあるかもしれません。また初めていく場所で迷ったり、電車を間違えたりするかもしれません。トラブルを起こさないに越したことはありませんが、そんなときにみんなが協力することでトラブルを乗り越えることが大切なのです。合唱コンでクラスの中に協力しない人がいて困った経験を生かすとすれば、フィールドワークは絶好のチャンスです。ぜひたくさん困った経験をしてください。そしていつも私がしていることですが、行事はその時だけがよければ成功ではなく、それまでの取組の過程やそこで得た経験を次に生かすことが大切です。今回の経験を次回の行事に向けたステップアップにするのか、失敗で終わらせてしまうのかは君たち自身にかかっています。学校生活を階段に例えるならその階段は上りの一方通行です。このフィールドワークが、次の階段へ登るための一歩となるように祈っています。そしてルールやマナーを守って、楽しみながらも成長できるように期待しています。

1 1月全校朝会（開校記念日）講話

「開校記念日に寄せて」

おはようございます。今日は、本校の68回目の開校記念日です。人間でいえば68歳、君たちのおじいさんやおばあさんの年代と言うことになります。

あと2年後には70周年となるわけですが、朝霞では、もちろん一番歴史と伝統のある中学校です。そして8年前に新しく建て替えたこの校舎は朝霞で一番新しい素晴らしい校舎です。

今日の記念日に当たり 何の話をしようかと考えたのですが、今年のテーマは「変わる」ですから、この記念日をきっかけの一つみんなと一緒に新しいことにチャレンジできたらと思います。そこで今日は「一中の前の通りを挨拶通りにしよう」という話をします。

4月から毎朝、先生方と正門でみなさんとあいさつを交わしています。また生活委員の人たちも一緒に挨拶をしてくれています。4月の初めよりみなさんから返ってくるあいさつの声が増えてきました。気持ちのいい「おはようございます」という声が返ってくると本当にうれしくなります。

最近では、学校を訪れた来客の方や保護者の方々からも「朝霞一中の生徒は良くあいさつが出来るようになりましたね。」などと言われる機会が増えてきました。みなさんのことを誉めてもらうのは、とてもうれしいことです。

もう一つ、朝の挨拶を続けてきてうれしいことがあります。毎朝のことですから同じ時間帯に近所の方や通勤途中の自転車の方、高校生と顔を合わせますが、その方たちとも自然とあいさつを交わすようになりました。中には毎朝通りかかる自転車のおじいさんが、ご自分から大きな声で生徒のみなさんに「おはよう」と声をかけてくれるようになりました。私はその姿を見て「ああいいなあ」とほのぼのとした気持ちになります。

そこで提案です。今日の開校記念日をきっかけに朝霞一中のみんなで一中の前の通りをあいさつ通りにしませんか。やりかたは簡単です。みなさん同士があいさつを交わすのと同じように、朝の登校時間や帰りの下校時間、部活で外周を走る時などに、歩いている方、自転車で通り過ぎる方にみなさんのほうから「おはようございます」とか「こんにちは」などとあいさつをしてくれればよいのです。当然最初は、あいさつが返ってこないかもしれません。変な顔をされるかもしれません。でも中にはきっと笑顔であいさつを返してくれる人がいるはずです。けしてふざけ半分にやってはだめです。強制はしませんから、きちんと挨拶をしようという気持ちのある人だけがやってくればよいです。

そうすることでみなさんの意識が変わります。道いっぱい広がって歩いている人やランニングに夢中で周囲が見えない人、一中生のことでよく近所の方から苦情が入りますが、あいさつをしようとするれば、君たちは意識してちょっとした気を遣うようになります。そして周りが見えてきます。そうすれば地域

の方々の一中生に対する見方も変わります。

来週の20日には朝霞一中校区の一斉あいさつ運動もあります。

今日の話を受けてみなさんが意識してあいさつをするようになり、それをきっかけにこの一中の地域であいさつの輪が広がったら素晴らしいと思いませんか。何年後かにこのあたりで街の人々が自然とあいさつを交わすようになったら「ああ、あの時の開校記念日がきっかけだな」と思うかもしれませんね。

終わります。